

経企AIアシスタント「FP&A Bot」導入プロジェクト

経営企画の定型業務を半減させ、戦略的分析へシフトするための投資提案

プレゼンター：経営企画部門



Visualized Logic

Current Issues (As-Is)



Transformation

Expected Results (To-Be)



定型業務の肥大化：勘定科目や計上ルールの問い合わせ殺到
工数圧迫：回答業務によるリソース消費
属人化：判断基準がブラックボックス化

完全自動化：LLM活用による一次回答の代行
経企工数50%削減：定型業務からの解放
即時化と資産化：リードタイム短縮とデータの蓄積



定型業務の肥大化

「この費用はどの科目？」
等の繰り返し質問への
個別対応

単純作業が担当者の
貴重な時間を奪っている



ナレッジの属人化

過去の判断基準が
特定の担当者の
頭の中にのみ存在

担当者不在時に
回答が停滞するリスク



事業部の待機時間

回答待ちによる
事業スピードの低下

即時解決できること
による現場のストレス

経企の知識をAIが代理出力し、専門的な判断のみを人間に残す



過去データの活用

予実管理データやQA集を
基に最適解を提示



24時間即時対応

Slack/Teams上で
数秒以内に回答



人間とのハイブリッド

AIで完結しない場合は
自動で人間へ
エスカレーション

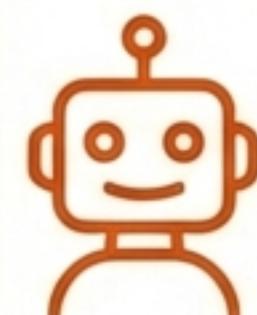
Step 1：質問投稿

事業部ユーザーが
Slack/Teamsで質問

PC購入費の
科目は何ですか？

Step 2 : AIによる即時回答

過去データ・規程を
参照し数秒で回答



消耗品費です。
10万円以上は
固定資産登録が
必要です。

Step 3 : 必要に応じた補足

複雑な案件のみ
経企担当者が介入



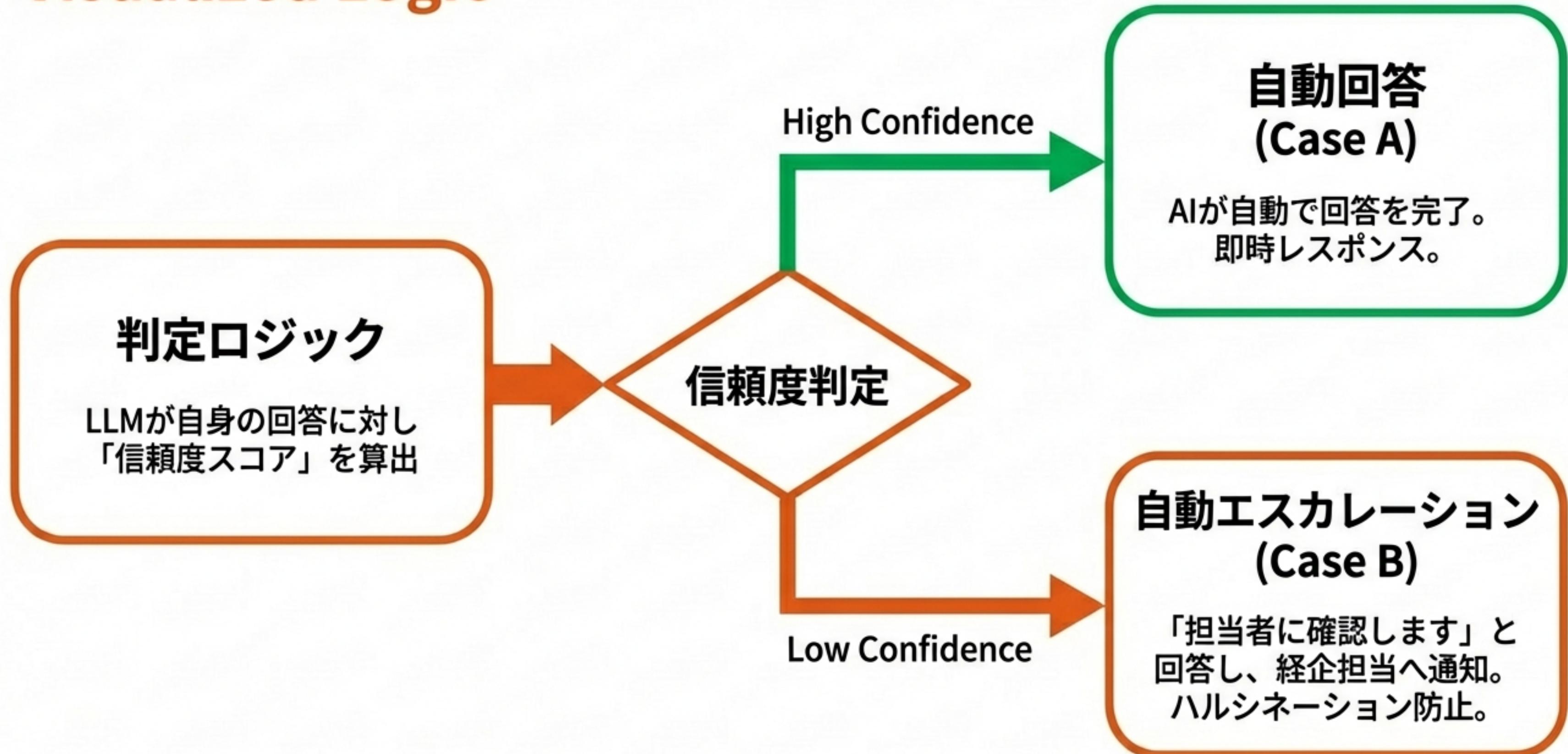
承認・修正

社内データソース



セキュリティ仕様: Azure OpenAI Service等を採用し、データ学習利用を防止

Visualized Logic



Visualized Logic

1,440万円

月間削減コスト：120万円

年間削減効果（概算）

削減工数：200時間 / 月

（内訳：1日2時間 × 20日 × 5名）

人件費単価設定：5,000円/時間

投資回収予測

初期開発費（300-500万円）
を約半年で回収可能



情報の非公開性・ セキュリティ

- 商用利用契約（Opt-out）済みモデルのみ使用
- 社内データは外部の学習には一切利用されない
- チャットツールの権限設定に準拠



回答精度 (ハルシネーション対策)

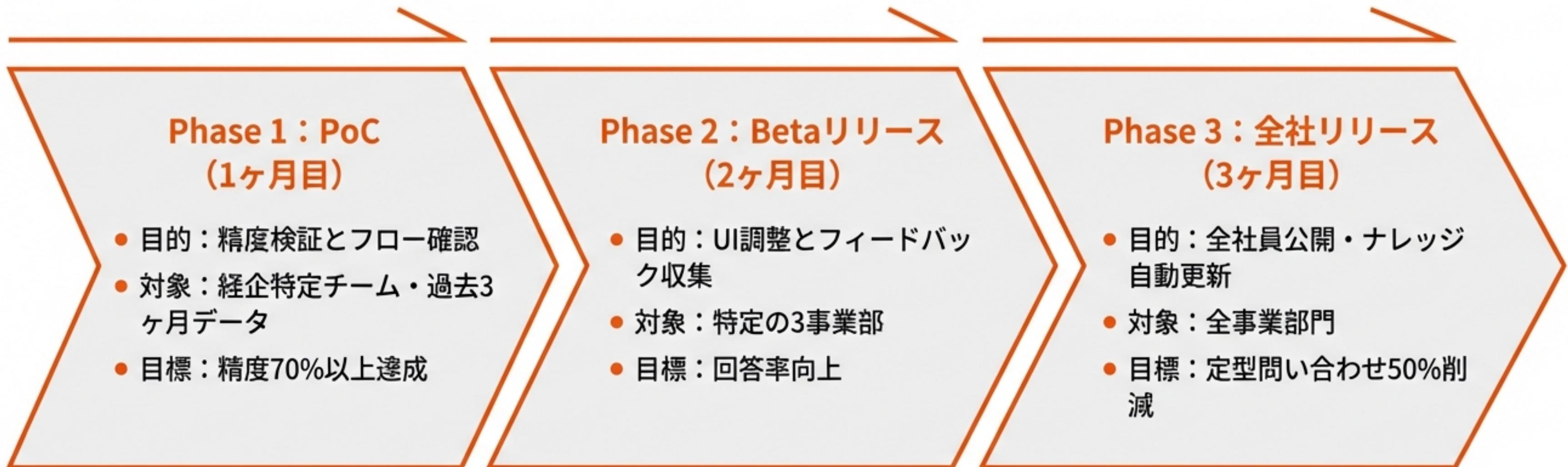
- RAGによる根拠データの明示
- 低精度時の有人スカラーシヨンで誤回答を防御



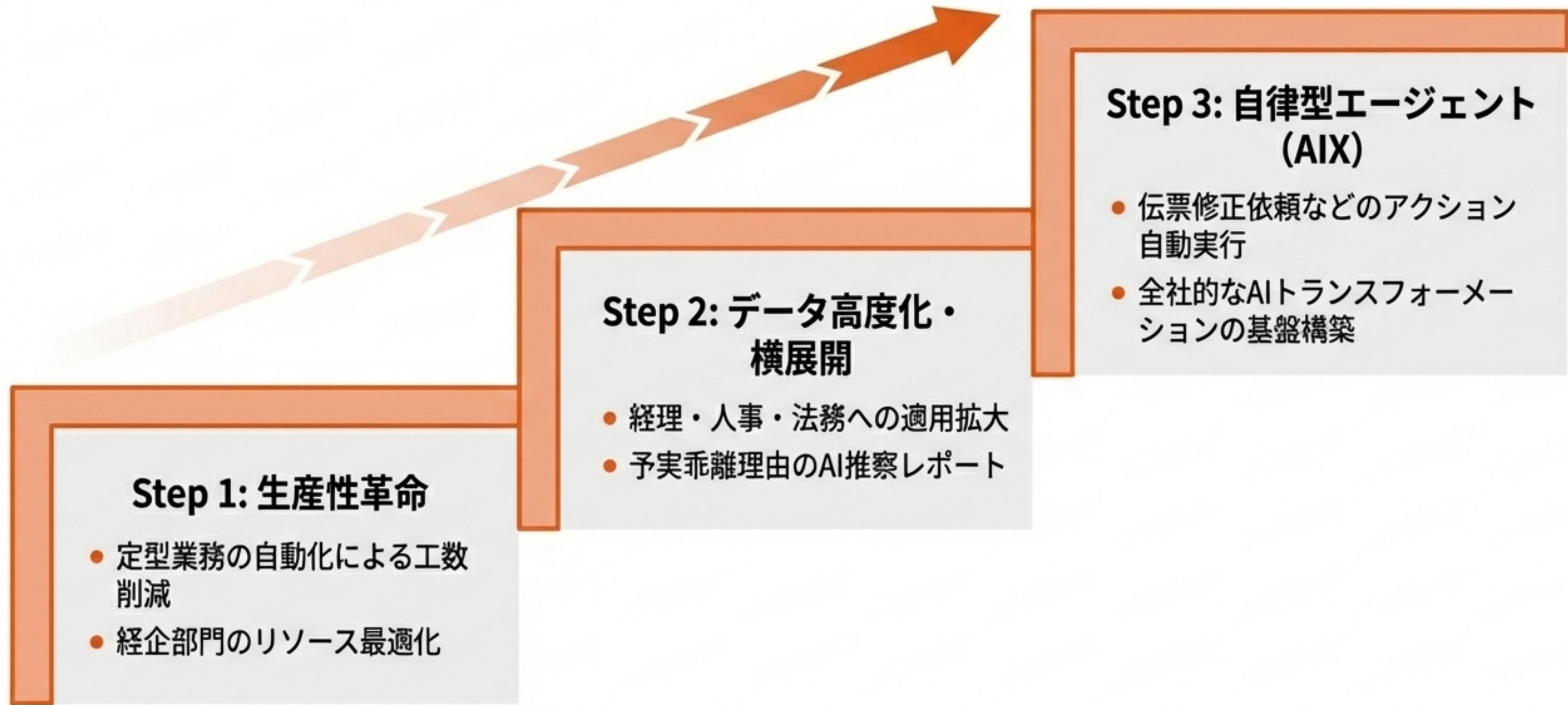
コスト管理

- Token単位課金で、定型質問に絞り低成本運用
- ランニングコストの肥大化を防ぐ設計

Visualized Logic



Visualized Logic



ご承認・ご依頼事項

- ✓ 初期フェーズ（PoC）実行予算の承認
- ✓ データ利活用に関するセキュリティポリシー確認
- ✓ 経理・IT部門との連携サポートへの合意

最小限の投資で最大限の業務改善を実現する
「賢い投資」として提案いたします。